

エコパークゾーンって何？

エコパークゾーンとは、下の図に示すように、博多湾東部のアイランドシティ周辺の海や海岸を含むエリアのことで、面積は約550ヘクタールあります。

ここには、毎年多くの渡り鳥が飛来している広大な和白干潟があり、国の鳥獣保護区にも指定されています。干潟や浅海域には、鳥類だけではなく、稚魚やカニなど多種多様な生きものが暮らしており、博多湾の豊かな自然を支える「命のゆりかご」の役目を果たして

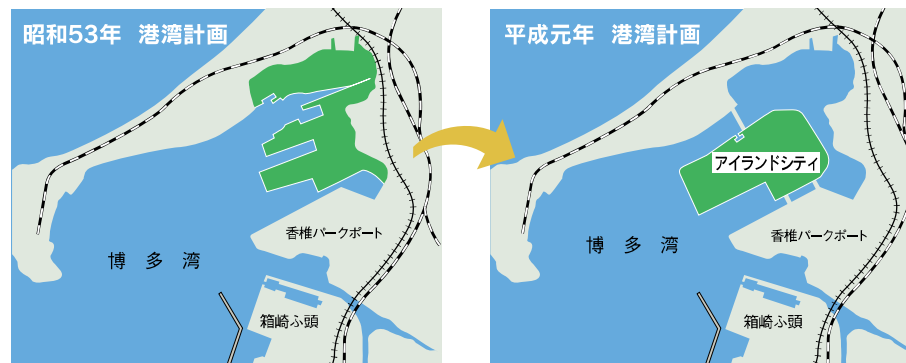
います。

このように、自然豊かなエコパークゾーンは、人口160万人を超える都市・福岡市にありながら、潮干狩りや散策、バードウォッチングなどが手軽に楽しめ、美しい景色や身近な自然とふれあうことのできる貴重な場所となっています。



これまでの経緯

平成元年の港湾計画で、博多湾東部の海や海岸、和白干潟などの自然環境を保全するため、これまで陸続きであった埋立計画を島方式に変更しました。これにより保全された空間を「自然と人の共生をめざす～エコパークゾーン」と位置づけました。



4つのゾーン

エコパークゾーンは、広大で様々な地域特性を有していることから、4つのゾーンに分けて、地域ごとの特色を活かしながら自然環境の保全・創造に向けた様々な取組を行っています。

